

白石町協働による地域づくり

これからの

地域コミュニティと地域活動

白石町協働による地域づくり検討委員会のまとめ

全国的な課題

- ・地域への連帯感・意識の希薄化
- ・少子高齢化・人口減少・混住化
- ・住民ニーズの多様化
- ・国・地方の厳しい財政状況

白石町での課題

- ・少子高齢化、厳しい財政状況
- ・コミュニティ活動単位の地域差
- ・活動団体の組織力
- ・コミュニティ力の強化による高齢者福祉への対応
- ・情報発信力の強化および参加意識の希薄化
- ・地元定着および郷土への愛着醸成
- ・子どもの居場所作り
- ・子育て支援の活動サポート

②協働による地域づくりの必要性

- ・上記課題に伴う公共サービスの需要の拡大及び町民ニーズの多様化、複雑化＝行政サービスのみでの対応の限界
- ・行政区の単位を越えた地域(小学校区等)での活動や取り組みが行えるネットワークの構築
- ・地域(小学校区等)内での組織および団体の多様な連携
- ・地域における伝統的、基礎的な活動の継続及び新しいニーズの把握や対応(イベント等への取り組み)

③目指す将来像

- ・小学校区単位等の地域で、行政区、自治公民館、消防団、PTA、老人クラブ、生産組合など各団体が「【仮称】地域づくり協議会」という新しいネットワークで連携し、地域課題の解決や地域の強みを生かした活性化につながる新たな取り組みを行い「参加と協働で築く町民主体のまち」を目指す。

①「協働による地域づくりが必要な背景」

○前ページ全国的な課題、白石町での課題のとおり

②「協働による地域づくりの必要性」

○前ページのとおり

③「目指す将来像」

○前ページのとおり

④「協働による地域づくりの組織イメージ」

○資料4

⑤「今後のスケジュール」 協働による地域づくりをどのように進めるのか？

○資料5